



昨年度の実施監査、第三者評価の受審にて、保護者様への園運営に関する内容のお伝え方法を閲覧以外にも工夫が必要と助言をいただきました。既に令和5年度の事業計画はナナポケにて配信しております(資料室にも格納しています)。枚数も多い長い文章を既に最後まで読んでいただいた方もいるかと思いますが、令和5年度の柱になっていく項目を要約して皆様へお伝えたく、今回園だより5月号別紙として作成しました。よろしくお願い致します。

《 令和5年度事業計画の重点項目 》

◎人権・安心と安全を護る「保育士」

「保育士」という職種の専門性が問われる事件や問題が何度も報道されております。お預かりしているお子様の成長はもちろんのこと、生命を護り育てていることを基に、保護者の皆様と共に、毎日を安心して安全に過ごせるようにしていきます。保護者様以外の大人で愛着や信頼関係を深めていく存在としての「保育士」という責任をもち、お子様の心身の状態を観察し、甘えや思いを十分に受け止め、自分の存在を大切にされていることを心から感じてほしいと思います。また、お子様が成長していく上で、おひとりおひとりの特性や個性があり、クラスや乳児・幼児という集団の枠組みの中だけでなく、個々の成長に沿った支援を保護者様とご相談しながら行っていきます。(園内研修、人権研修、外部研修も積極的に行って保育士の資質向上を目指します。)

◎行事の捉え方

保護者様がお子様の成長をより感じ取っていただけるようにナナポケや口頭での引継ぎはもちろんのこと、行事内容の見直し、参加クラスの拡大、保護者参加の機会を増やすなど、これまでいただいた保護者様のご要望やアンケート内容を基に検討や改善しながら進めていきます。

★5歳児の交通機関を利用した遠足を年2回計画しています。3.4歳児は秋の徒歩遠足になります。

★にじいろワールドフレンズも継続で実施していく予定です。(時期はまだ未定)

★運動会とクリスマスお楽しみ会について

園開催とクラス入替制という点ではここ3年と変更はありませんが、内容について少しでもより楽しんでいただけるように工夫改善をしていきます。運動会については、大きな体育館使用で全園児でやりたいというご要望がありますが、この点につきましては、毎年の体育館確保について、これまで何度もお断りを受けてきており、相当困難であることはご理解いただきたいと思います。ただ、令和2年度からの3年は「川崎市立鷺学校体育館」の利用を確約いただいていた。もう探さなくてよくなりました。でも、このコロナ禍でタイミング的に使用できなかったこと、この令和5年度秋より改修工事のため終了するまでは、利用できないことになっています。しかし、この先、現在繋がりをもっている学校様があるので、改修工事が終わり感染症の流行を気にせず大きな会を開催できるようになった場合は、開園当時のような大運動会ができればと願っています。どうか、この点については、ご理解をいただきたいと思います。

また園長個人の意見となりますが、長く保育士をしてきて、他園でも色々な運動会や発表会を経験してきた中で感じたことを知っていただきたいのですが、このコロナ禍の当園での会が演目数が少なかったことは確かですが、以前のような規模の大きな行事はそれだけ子ども達に課題や練習時間が必要となり、かなりのプレッシャーがかかっていました。その時期はその活動が主になり、ゆとりもなくなります。体調を崩す子、給食を食べれなくなる子など、大きな行事前はそのような様子を見せるお子様もいました。この3年の運動会やクリスマスお楽しみ会への取り組みをみてきて感じたのは、子ども達自身がこんな風にしたい、こう見せたい、ここまで頑張りたいなどの主体性が育ったこと、集中して取り組めたこと、達成感が十分に得られ自信がもてるようになったという点でした。大きな会を知っている保護者様にとっては、見ごたえにかける、時間が足りないなど…あるかもしれませんが、保育士は内容を何度も考え工夫し見せ場を作り、子ども達は保護者様に見せるという願いや希望で精一杯取り組み、当日沢山の奇跡を生み出しました。この3年は決して規模縮小の行事の質が悪かったり子ども達の成長に足りなかったということはなかったと考えておりますし、保育士の成長にも繋がる会でもありました。そういう点も知っていただきたいなと思っております。

また、以前のような乳幼児でのかけっこ、幼児リレーをみたいというご要望もあります。この点については、自由参加にはなりますが、親子遠足を再開しますので、その機会にレクリエーションのひとつとして保護者様と楽しめるように企画していきたいと思っております。トイレ付の運動できる公園を確保するため、現状やり取りしておりますので、秋の親子遠足を楽しみにしててください。乳児クラスについても、親子で楽しめるような内容を企画したいと思っております。

★保護者参観/参加…昨年度再開しましたが、乳児は普段の様子をみたいというご要望で覗くスタイルの参観、幼児は参加で実施しています。給食まで見学したい、両親で交代で見たいなどのご要望もありましたので、日時指定や人数制限をさせていただくと思っておりますが、よりご要望に沿った参観/参加としていただけるように計画していきます。

◎就学支援プログラムの構築

武蔵中原も開園7年目となり、丸6年間過ごしたお子様がこの3月に卒園していきました。これまで、4.5歳児の保育活動として行ってきた内容を継続かつより就学へのスケジュールに沿って行えるよう、園全体でのプログラムをこの一年かけて構築する予定です。既に昨年度末より開始していますが、4歳児後期～保護者様と一緒に5歳児クラス3月までのプログラムを実施していきます。保護者様と共有したり、相談し合って進め、また、就学した先輩保護者様のお話を聞ける機会も設ける予定です。

◎地域の中での保育園(住みやすい地域を目指しSDGs活動に取り組む)

★園周囲だけでなく、町内会でもある神地町内地区の地域清掃活動を通じて、住みやすい街を考えたり、ゴミの分別を学んだり、住んでいるこの場所を大切にできる心を育てていきます。

★地域スーパー「マルエツ中原店」様との共同でのペットボトルキャップ回収活動をしていきます。これは、全てのご家庭、職員が共に参加できる活動であり、園事務室前に専用の回収Boxを設置致しました。45L袋いっぱいになると約7kg。2kgで1本のワクチンになり、世界で苦しむ子どもたちにワクチンを贈ることができます。「マルエツ中原店」様へ回収車が月曜日に来るそうです。2-3袋になりましたら、幼児と一緒にお届けしにしようと思います。皆様もご協力ください。

★JR武蔵中原駅やビーンズ武蔵中原店様からのイベント参加依頼がありますので、可能な範囲でご協力させていただき、地域に貢献できる機会を子ども達に感じてもらいたいと思います。

★地域保育園との交流(にじいろ系列園・ころもむさしなからはら保育園様)をしていきます。5歳児クラスを終えると地域の小学校へ居住地区ごとに就学します。これまで11名で過ごしてきましたが、小学校は一クラス30名程度。地域の他園の子ども達と交流していくことで、就学した時に知ったお顔が増えてほしい、ほっとして支え合ってほしいと、そんな関係になれるように交流の機会を設けていく予定です。

★地域子育て支援活動の再開をし、保活や子育てで悩む未就園児の保護者様や出産を控えている保護者様へ寄り添い、イベントを通じて保育園を知っていただいたり、ご相談に応じます。現状、入りたい園に入れるわけではなく、区で調整された園へ入園するのが流れます。保育園が第二の家庭でありたいと願うように、不安が多い未就園の保護者様にとって、色んなことが知れて保育園という場所が子育てをしていく自分達にとって味方であり、安心して頼れる場所であることを知っていただければと思っています。

◎食から五感へ 食から世界へ

★これまでのように継続して、5歳児中心に5月中旬よりトマト&パプリカ栽培、10月以降にしいたけ栽培をします。五感で生命を感じる栽培活動をしていきます。収穫した野菜は、この2年のように給食部門で普段の昼食で提供したり、調理加工して特別メニューで提供をし、育てた物を自分で食べる喜びを体験します。この栽培活動で、苦手だったトマトやしいたけをご家庭で食べるようになったというお話も聞きました。※4歳児は今年度はあさがお栽培をします。

★おやつで世界一周旅行！が4月よりスタートしています。武蔵中原給食室オリジナル企画！4月はスペイン「チュロス」でした。味や出来上がりにこだわる研究熱心な調理師が自宅で作った上で、当日提供してくれます。絵や制作の得意な栄養士は、世界の都市やおやつについてのフリップを自作し紹介しながら、子ども達が楽しんで食べられるように事前に活動をしてきています。子ども達の初めての世界一周旅行は、武蔵中原でのおやつからです。

◎健康・衛生管理 在園児親子保健体験指導を開始

★新型コロナウイルス感染症が5類へ変更となりましたが、昨年度当園では、乳児でRSウイルス→手足口病→ヒトメタニューモウイルス→ウイルス性胃腸炎など、6月～年度末まで乳児がクラス単位で感染症が流行しました。本当に大変でした。唯一の救いは、乳児幼児分けての受入れ対応だったこともあり、幼児へ拡がらずに済んだことです。そのため、令和5年度も乳児・幼児分けての朝の受入れ、夕の引渡しを継続していきます。

★事業計画記載時には間に合わなかった計画ですが、年2回、看護師による在園児親子保健体験指導を開始することにしました。6月(6/10予定)に「手洗い」「仕上げ磨き」についての指導を行います。専用クリームを塗ったご自身の手をブラックライトで照らし汚れを確認した上で、手洗いをし、お子様の仕上げ磨きに悩んでいる方も看護師の指導のもと実践しながら仕上げ磨きのコツを学びましょう。11月(未確定)には、胃腸炎が流行する前にご家庭での嘔吐処理についてのお話をしたいと思っています。また、その他健康面についてのご相談をお受けしていきます。

◎安全対策はできることから

★事務室の窓やカーテンは開けておりますが、登園降園時に事務室に職員が不在の場合がこれまで多くありました。正門や玄関は電子錠、正門が開錠している間は報知音が鳴る設定にして対応してきましたが、事務室に職員が不在なことでも不審者対応への不安のお声がありました。今、できることとして、子ども達の朝夕対応が第一優先ではありますが、色んな対応をしながら、園長が出勤時には可能な限り、朝夕事務室でお声がけをしたり、外部の方への対応をしていきます。

保護者様へのお願いとしては、ICカードを利用して開錠すること、周囲に不審者がいる場合は直ぐに園内職員へ知らせていただくこと、自転車の出し入れの際に正門を長い時間開放しておかないこと(コンビニ音が玄関で鳴り続けます)などのご協力をお願い致します。また、下駄箱の木の扉も必ず閉めて鍵をかけてください。職員だけでは難しい面があり、一緒にご対応をお願いしたいと思います。

★正門前の高架下歩道の自転車往來が酷く、物凄いスピードで向かってきます。これまで何度か門に既製品のミラーを取り付けてみましたが、高架下の強風で直ぐに外れてしまい、長く設置できたことがありませんでした。本社と引き続き協議していきますが、時間がかかっており、できることとして、保育園正門があることやスピードを減速してほしいという内容のポスターを正門前や柵に取り付けています。抑止力になることを期待しますが、正門の出入り時には、左右十分に確認した上で出てください。

★園周囲の清掃を子ども達と一緒にしていますが、正門前のバス停に置きゴミが酷い時期がありました。2年前からゴミを持ち帰ってくださいというポスターを取り付けたところ、効果があり、置きゴミが減りました。ポスターが劣化したので、新しいポスターへ交換しています。また、たばこのポイ捨ても多い場所ですが、これも2年前に市からのポスターを柵に取り付けたところ、以前より圧倒的に減りました。今年度は子ども達にもポスター制作をしてもらうことも検討しています。

★5歳児と園内や園庭での危険箇所についてのお話をした後、とても理解が深く様子に良い変化がありました。しかしまだ1-3歳児クラスの子供達には、言葉だけの注意や制止ではなかなか理解が深まりません。子ども達が触ると危険だったり、保護者様だけに開けてほしい場所には注意喚起できるマークを貼り付けました。視覚効果で、小さい子もルールを守ってくれています。引き続き、登園降園時、保護者様と一緒に気をつけてくださいますようお願い致します。